

技術資料 ロックウール化粧吸音板捨て張り工法

この工法は、二重張天井仕上げ工法ともいわれます。軸組みに下地用ボードを張り付けて、さらに天井板を接着剤と釘（ステーブル）を用いて化粧張りをする工法です。なお、照明器具や設備機器を取り付ける際は、下地とともに開口することになります。施工の際は、天井裏面の下地などに結露が発生しないよう、換気や断熱に充分ご配慮ください。

■施工要領

- 1) 製品表面の矢印方向を必ず揃えて張ってください。
- 2) 目地ずれ修正用の水系を10m単位に張って、目地修正をしながら施工することをお勧めします。
- 3) ステーブルは模様形状に合わせて打ってください。
- 4) 周辺部分のみ集中してステーブルを打つことは避けてください。
- 5) 梱包ケースに記載されているロット番号を確認のうえ、少なくとも部屋単位に同一のロットをご使用ください。
- 6) ロックウール化粧吸音板の取扱いはP18～19記載の「取扱注意事項」に従ってください。
- 7) 木製の貫下地への直張りは避けてください。貫下地のくずれ、あばれ、おどりによるソーラトンの「波うち」、湿気による「たわみ」、呼吸による「綿状の汚れ」などの原因になります。

■下地点検（屋内の場合）

下地のタイガーボードに、目地違い、凹凸、わん曲などのないことが重要です。万一、目地空きや不陸などがあるときは、ジョイントセメント、ジョイントテープ、サンドペーパーなどで必ず下地補修をしてください。タイガーボード目地部は、空気の流通によって天井表面に汚れが発生する場合がありますので、現場状況を判断の上、ジョイントテープなどで下地目地部の処理をしてください。例えば室内気圧と天井裏気圧が異なる環境の場合は、目地部での空気の流通が起きやすいと考えますので、注意が必要です。

■割付け（屋内の場合）

タイガーボード継目とソーラトンの張り目地とが重ならないように割り付けます。タイガーボードの継目の目違いは、ソーラトンに目違いが生じる原因となりますので、ご注意ください。また、接着剤は、300×600サイズの天井板一枚あたりに、15箇所以上塗布してください。

■軽量下地工事について

軽量下地工事およびボード張り工事は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」に準じて行ってください。特に大規模空間を持つ建築物については、都道府県の国土交通省通達「大規模空間を持つ建築物の天井の崩落対策（技術的助言）」に準じて工事を行ってください。

■接着剤

推奨の接着剤を希釈せずにご使用ください。

〈推奨接着剤（屋内用）〉吉野サクビボンド
JIS A 5538（酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形接着剤）
JIS F☆☆☆☆取得、JAIA 4VOC基準適合品



18kg/箱
(3kgポリ缶×6個入り)



20kg/箱
(20kgポリ袋入り)



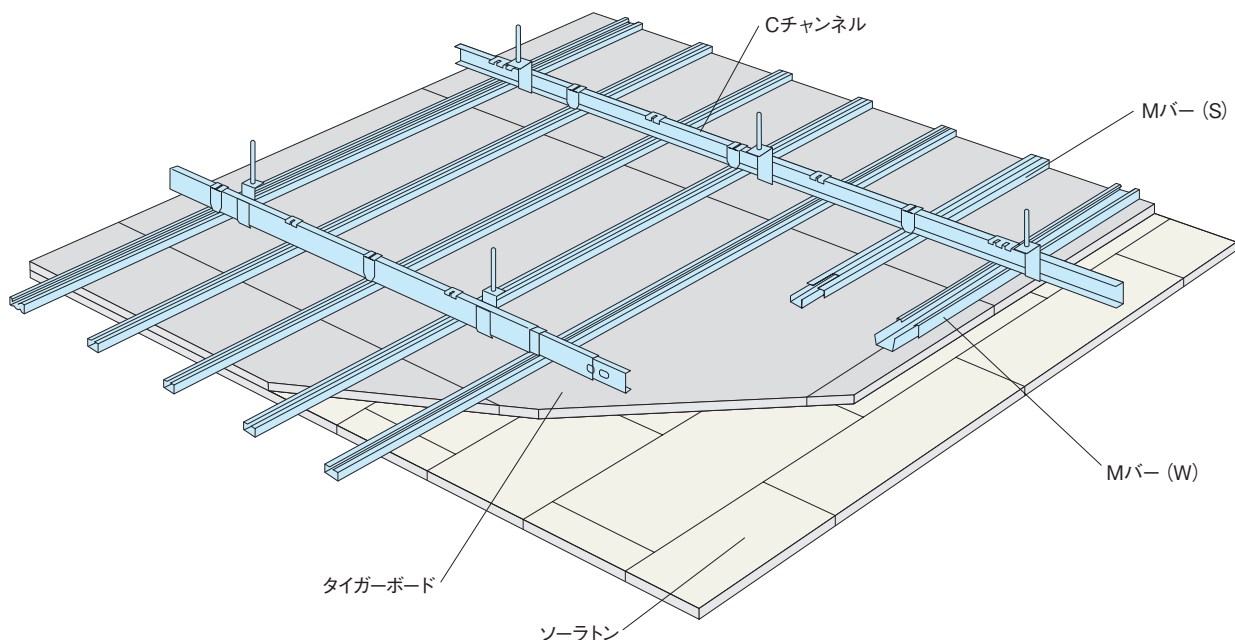
18kg/箱
(3kgポリ袋×6個入り)



18kg/箱
(1kgポリ袋×18個入り)

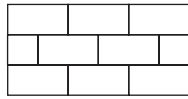
ゴムのりなどの接着剤は絶対に使用しないでください。

スプレー塗布や、希釈した接着剤のローラー塗布は避けてください。接着力を低下させるとともに、施工後の目地空きや垂れ下がりなどの現象を起こすことがあります。

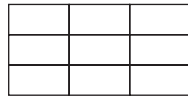


■施工・張り方

接着剤を充分点付けし(300×600mmの天井板で、ダンゴ状に15箇所以上)、手前から横にすらすらして所定の位置に圧着し、2mmまたは4mm幅のステーブルで固定してください。通常、天井板の張り方は、「レンガ張り」を行い、幅方向の目地を通さないで割り付けをします。但し、「クロス柄」は「流し張り(イモ目地)」を行い、長さ方向と幅方向の目地を通すよう割り付けをします。

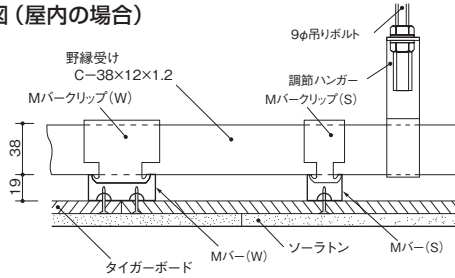


レンガ張り



流し張り(イモ目地)

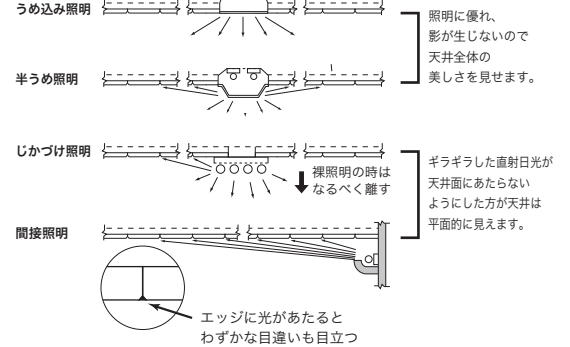
■施工断面図(屋内の場合)



■下地材、接着剤の選定

| 使用部位 | ロックウール化粧吸音板 | 下地材 | | 接着剤 |
|------|-------------|--------|------------------|--|
| | | 鋼製天井下地 | 下地ボード | |
| 屋内 | ソーラトン | 19型 | せっこうボード(タイガーボード) | 酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形接着剤「吉野サクビボード」(JIS A 5538適合品) 150g/㎡以上 |
| 軒天 | ソーラトン不燃軒天 | 25型 | ケイカル板 | 酢酸ビニル樹脂系溶剤形接着剤 (JIS A 5538適合品) 300g/㎡以上 |

■照明について

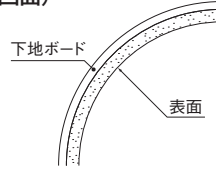


■ソーラトンの施工可能な曲率半径(R)について

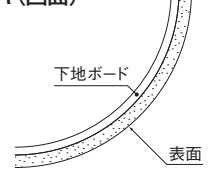
| 張り方 | (単位: mm) | |
|---------------|----------|-----------|
| | 内R | 外R |
| ヨコ張り(短辺方向の曲げ) | R4,000以上 | R8,000以上 |
| タテ張り(長辺方向の曲げ) | R6,000以上 | R10,000以上 |

※上記は、捨て張り工法に限ります。 ※クロス柄のタテ張りは避けてください。

内R(凹面)



外R(凸面)

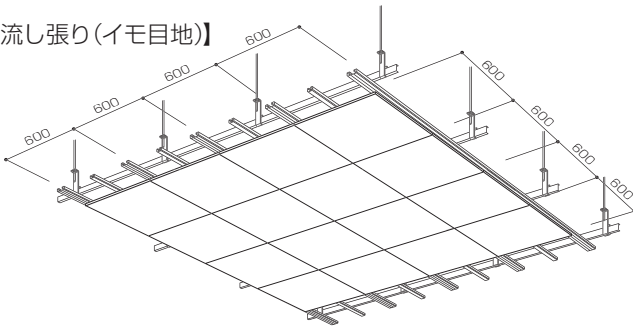


ロックウール化粧吸音板直張り工法

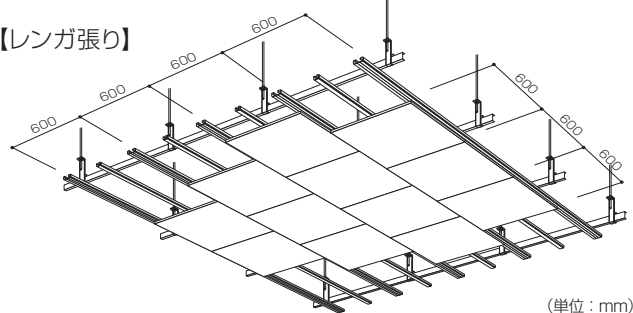
- 1) 建築用鋼製下地(天井)の直張り仕様で下図のように下地組をしてください。
- 2) 鋼製下地に、ソーラトンライト・ワイド製品をボード用タッピングビス(白色塗装品)で取付けます。タッピングビスは天井板のサイズにより下記の本数を取り付けてください。
 - 一枚あたりのビス使用本数
 - ・600×600mmサイズ: 15本以上/枚
 - ・455×910mmサイズ: 20本以上/枚

ソーラトンライト・ワイド600

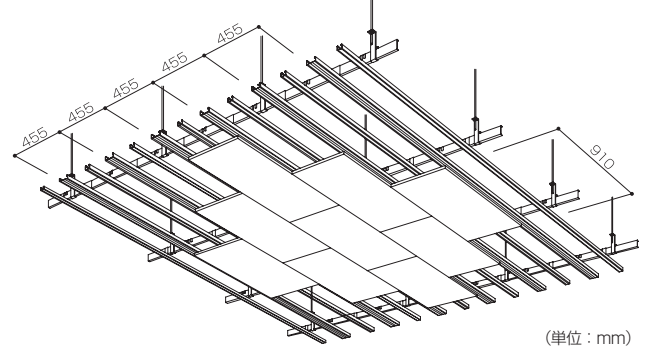
【流し張り(イモ目地)】



【レンガ張り】



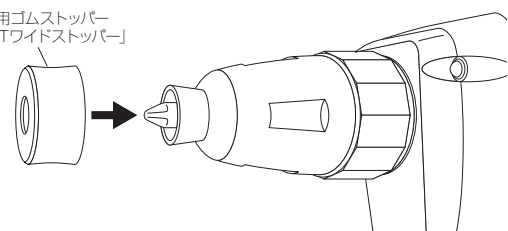
ソーラトンライト・ワイド



施工時の注意点

- ・天井板の裏面の矢印方向を揃えて張ってください。
- ・施工時は、相対湿度80%以下に保つようしてください。
- ・軒及び外気にさらされる場所への施工は、避けてください。
- ・スクリュードライバーは、天井板保護のため、必ず専用ゴム製ストッパー「STワイドストッパー」を使用してください。

専用ゴムストッパー「STワイドストッパー」



ダウンライト等の照明器具を補強板無しに直接ボードに取り付けしないでください。落下の原因になります。ソーラトンライト・ワイドおよびソーラトンライト・ワイド600の詳細についてはP.10をご確認ください。